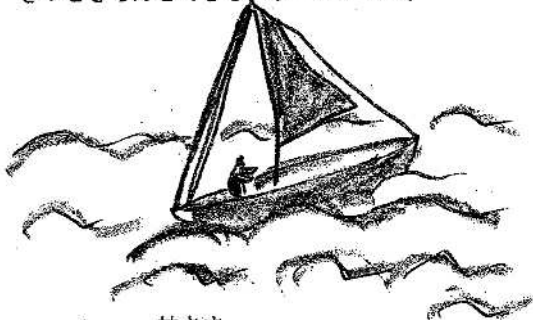


絵本塾 2017年 5月

おはなしのへやだより 5月

神さま、たすけてください

神さま、
かんたんなことも
いっしょうけんめいできるように
おたすけてください。
そうしたら、
むずかしいことをするようになって
きつときちんとできるようになります。

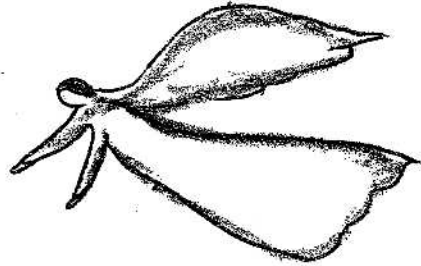


神さま、
ぼうけんをするゆうきをください。
あぶないことをしないちえもください。

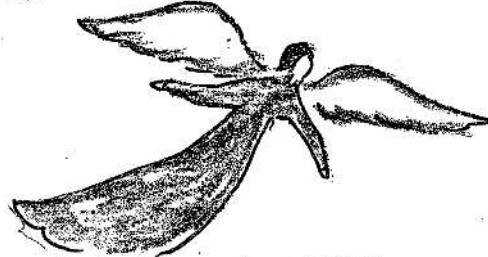
神さま、たすけてください。
うみはととも広くて
ぼくのボートはととも小さいのです。

ブルターニュの漁師たちの祈り

(小さな おいのりのたび いのちのことば社)

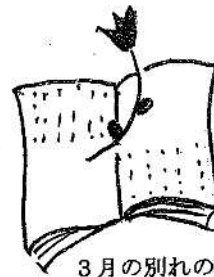


神さま、
ヨットでうみに出るときのように、
しずかな日やあらしの日も、
あさいところやふかいところでも、
ちかくのはまべやとおくのおきでも、
ぼくがおとなになっても、いつまでも、
ずっとまもっていてください。



2017年 6月のご案内

日時	毎月第2日(金) 午前10:30~12:00 昼食
場所	日本キリスト改革派 浜松教会 (お問い合わせ: 望月鈴子へ) (432-8022) 中区山手町45-3 ☎: 053-453-1694
会費	500円(一人でも親子何人でも) 講座、昼食、お便り
<Part I>	一緒に遊ぼう
<Part II>	絵本から考える
手遊び、リズム遊び	絵本: 14ひきのあさごはん
絵本	いわむら かずお
パネル・シアター	童心社
他	テーマ: ひとりごはんにとぎやか食卓



心に語りかける絵本

“心のとびら”のたたき方



3月の別れの季節、4月の出会いの季節を経てはや5月。この季節は、フレッシュマン達が新しい生活環境に少しずつ馴染んでくる時ではないかと思えます。

絵本: とん ことり
筒井頼子さく 林 明子さく
福音館書店

どんな人の人生でも、出会いと別れはその人生に彩りを添えたり、さまざまの影を落としたりします。さびしさや不安、期待やワクワク感が交錯する別れと出会いの季節は心の振り子が大きく揺れ動く時と言えるでしょう。

大人でも子どもでも、新しい環境に適応し馴染んでいくこと、新しい友達・仲間づくりは不安がいっぱいです。その一方で、今までよりもっと気の合う人に出会い楽しく過ごせるかもしれないという期待感もあることでしょう。不安と期待感が綱い交ぜになって心が揺れ動いている時、「どうすればいいのかな?」と考えますが、絵本「とんことり」は良い出会いを生み出すための一つのヒントをくれるのかなと思います。

「求める心」と「求める(迎える)心」が本当にマッチングしたらこんなに弾けるような笑顔になる!! 「とんことり」は物語の終わりで、見開きいっぱい黄色いタンポポが咲き乱れる野辺に、出会った二人の弾けるような喜びの笑顔で、読む人の心を幸せ感で包んでくれます。

物語の主人公は幼稚園児のかなえ。山の見える街に、引っ越してきました。お父さんもお母さんも引っ越し荷物の片付けで大忙し。引っ越して来たばかりで右も左もわからない、お友達もいないのでかなえはひとりで遊びます。そんな時、“とんことり”と玄関で小さな音がしました。行ってみると郵便受けの下にすみれの花束が落ちていました。次の日も“とんことり”と音がしたたんぼぽが3本、その次の日も“とんことり”と今度は「ともだちはいいです・・・まっています」と子どもの字で書いたお手紙。次の日“とんことり”と音がした時、かなえは「まって!」と叫んですぐ玄関にとび出しました。郵便受けには折り紙の人形が入っていました。ドアをあけると知らない女の子が門を出て行くところでした。かなえが「まって!」という女の子がゆっくりとふりむきました。ようやくというか、ついに二人は出会ったのです。お互いにもじもじとはにかみながらも、しっかりと向き合っています。「あそびにいこうー」のさそいに、かなえはうなずいて、にこっと笑いました。お互いの心と心が響き合って友だちになったのです。

「ともだちはいいです・・・まっています」と手紙を書いた女の子は、引っ越して来たばかりのかなえに、いきなりズカズカと訪ねて行って「あそぼう」とは言わずに、遠慮深く、少しずつ、それも心を込めて近づいていきます。“すみれ、たんぼぽ、てがみ、・・・”を郵便受けに“とんことり”とそっと入れて。その間に、かなえの心には出会いへの期待が醸成されていきます。

私たちが新しい出会い、お友達を求める時、相手の心に無遠慮に踏み込まずに自分の心を先に開いて、こんなにも辛抱強く、丁寧に心を込めて相手の“心のとびら”をノックしているでしょうか。

望月鈴子

